



おもちゃ図書館のおがた

おもちゃのへや



平成29年春
創刊号

広報紙「おもちゃのへや」発刊にあたり

この度おもちゃ図書館のおがたの広報紙を発刊の運びとなりました。直方市社会福祉協議会はもとより発足以来関わって下さった多くのスタッフ、利用者の皆さんのお陰様と感謝申し上げます。この広報紙が利用者の皆さんやスタッフとの交流を深めるきっかけとなり、当図書館が益々進化発展していくことを祈念しています。 スタッフ会会長 石黒



手作りおもちゃの紹介

「お天気カレンダー」



今回は「おもちゃ図書館のおがた」の10周年を記念して制作中のタペストリー（布で作るお天気カレンダー）を紹介します。ただ今、各メンバーで手分けして作っている所です。

完成時に直方市社会福祉協議会へ贈呈し、センターの入口広間に掲げられることとなります。お楽しみに♪（スタッフ倉富）

製品おもちゃの紹介

「スーパーオート トミカビル」

好評だったおもちゃ（ミニカーの立体駐車場・ミニカー3台付き）を買い換えました。リニューアルして小型になりました。別に高速道路など、追加して遊ぶ工夫も出来ます。

おもちゃは誤飲の危険性のある小部品もありますし、指など挟まない様に注意が必要です。

しかし、危ないと外すのでは無く「何が危ないか？どの様に注意すると良いか？」遊びのなかで学んでいけると思っています。大人も一緒に遊んでください♪（スタッフ伊藤）



みんなの広場



利用者の声

大人も童心にかえって子どもたちと遊んでいます。地域の人たちとの交流も深まり沢山のお話を聞けます。最近はこのような施設等が少なくなっているので嬉しいです。（わんぱくハウスさん）

初めて利用しました。もっと早く知っていたらと悔やまれます。もっと宣伝してください♪ちゃんと電池も入っているし、木の暖かいおもちゃもあって感激です♡（Mさん）

大きいお兄ちゃんがいる時は赤ちゃんスペースがあったらいいなと思うこともありますが、お兄ちゃんもやさしく一緒に遊んでくれるので、それはそれで成長の一場面かと思います。（Kさん）

ご利用ありがとうございます。当館では木のおもちゃや布絵本など沢山ありますので、ぜひ自然素材のおもちゃに触れてみて下さいね♪

Kさんより（赤ちゃんスペース）についての貴重なご意見を頂きました。皆が安全に遊べるのが何よりも大切なことですので、早速スタッフで検討していきたいと思います！



スタッフより

「おもちゃ図書館のおがた誕生秘話」

平成19年秋のとある日、私は北九州市八幡西区青葉にある西部障害者福祉会館（現在はCOMCITYに移転しています）を訪ねていました。何の用事かはもう忘れましたが、館内にある「北九州市おもちゃライブラリー」の前を通った時、一人のお母さんが可愛い子どもを抱いてライブラリーの職員と話をしていました。そして聞こえてきた言葉が「直方から来ました」でした。「えーっ?!!」と大声で言いたいところを我慢して「直方からここまでおもちゃを借りに来たんですか？」と声をかけてしまいました。私は帰りの車中で「よし、直方におもちゃ図書館をつくろう!」と決心したのです。



平成20年7月29日 開館式にて

当時、直方社協では「地域福祉セミナー」（8回シリーズ）を開催中だったので、最終回の閉講式で受講者の皆さんに「おもちゃ図書館を作りたいから手伝って欲しい」とお願いしました。そして5人の方が協力してくれることになり、そのあと広く募集して16人までになって、先進地視察や開設準備会議を重ねながらおもちゃ図書館の名前やボランティアスタッフの組織名（＝おもちゃ図書館のおがたスタッフ会、初代会長は真鍋勇さん）、通常開館日、オープンの日などを一つずつ決めていきました。読売新聞は、なんとオープン前の7月11日に紹介してくれました。あの時私の指にとまってくれた皆さんが今でもスタッフとして活躍してくれていることは、本当に社協職員冥利に尽きると思っています。

スタッフ会の皆さん、次は20周年を目標に体力気力が続く限りおもちゃ図書館のおがたに居てください。（社協 駒山）



12/3（土）10時よりなすなの会の皆さんのご協力を得て、毎年恒例のクリスマス会が盛大に行われました。当日のゲストは2名。1人目の大道芸に場内は大喝采。得意の腹話術も披露して頂きました。次に現れたのはギター奏者。演奏を聴いたり皆で歌ったり、本当に楽しいひと時でした。

最後にサンタのおじさんが現れて子ども達にクリスマスプレゼントとスタッフ手作りお土産を渡して無事終了しました。（スタッフ草原）



12/18（日）総合福祉センターにてもちつき会が行われました。天候にめぐまれ、とても暖かい陽気の中での開催で、皆でぺったんぺったんお餅をつきました。

途中でつくたてのお餅を（きなこ餅）や（おろし餅）にしてパクリ！「ほっぺたが落ちそう♪」とはこのことですね。

（社協 高宮）



おもちゃの数（H29.1.24現在）

おもちゃ・・・283
絵本・・・884
布（絵本・おもちゃ）・・・63
木のおもちゃ・・・88

利用者の数（H29.1月分）

子ども・・・84人
保護者・・・18人
その他・・・22人
貸出し品数・・・20個



編集後記

どの子どももみんな、のびのびと遊べるおもちゃ図書館を社会福祉協議会さんが企画され、育てる大役をボランティアに任されて10年目になります。

利用者がのびのび過ごせる事を目標とし、各人の経験・特技・発想により芋掘り体験や出張開館、製作、修理など独自性も加える事で皆さんに喜んでいただき、その活動のふれあいで、我々も喜びと元気を頂いています。この経験を活かして尚一層ゆとりのあるオアシスとしていきたいです。（スタッフ真鍋）

